

## 2015年度 A日程 【社 会】

### 問

- 問 1 【地理分野】 瀬戸内 (4点)  
解説 瀬戸内式気候は瀬戸内海に面する地域特有の気候で、大阪もこの一部とされる。大阪は夏に和泉山脈によって季節風がさえぎられ、冬は丹波高地によって季節風がさえぎられることが降水量の少ない原因とされる。
- 【地理分野】 イ (4点)  
問 2 解説 瀬戸内式気候の特徴を表わす雨温図を選択する場合、年間降水量が少ないイ、ウが考えられる。月別平均気温を見るとイは1月に0 を下回らず、8月には30 近くまで気温が上昇しているのが特徴である。大阪の1月の平均気温は6.0 、8月が28.8 で、イを答えとするのが妥当といえる。普段から天気予報で気温に目を向けてほしい。一方のウはイと比べて一年間の月別平均気温が低い。ウは中央高地型の気候を示す長野県松本である。なお、アは冬季の降水量が多いことから日本海側の福井、エは一年を通して気温が高い那覇となる。
- 問 3 【地理分野】 エ (3点)  
解説 滋賀県の琵琶湖を水源とする淀川は上流部で瀬田川、中流部では宇治川とよばれる。京都府、大阪府の境界で木津川と桂川に合流した後、淀川となり大阪湾へと注ぐ。
- 問 4 【歴史分野】 新田開発 (3点)  
解説 主に江戸時代に行われた新しく田畑を開拓する事業を新田開発という。
- 問 5 【歴史分野】 (1) イ (3点)  
解説 平安京は桓武天皇の命令によって現在の京都府京都市につくられた都である。
- 【歴史分野】 (2) エ (3点)  
解説 当時の日本とつながりの深かった国を考え、答えを導き出したい。
- 【歴史分野】 (3) 武士 (3点)  
解説 平安時代において朝廷の警備や貴族を守る仕事についた人々を武士という。
- 問 6 【歴史分野】 (1) エ (3点)  
解説 エ以外については時代が全く異なるため、消去法で正解が導き出せると考える。
- 【歴史分野】 (2) 楽市・楽座 (3点)  
解説 織田信長の行った政策の一つである。歴史上の人物と、その人の行った政策については整理しておきたい。
- 【歴史分野】 (3) キリスト教 (3点)  
解説 (2)と同じく織田信長の政策の一つである。教科書にも掲載されている基本的事項である。
- 問 7 【歴史分野】 (1) 豊臣秀吉 (4点)  
解説 大阪城を築いたのは豊臣秀吉である。一般常識のレベルである。
- 【歴史分野】 (2) 刀狩令 (3点)  
解説 豊臣秀吉が出した法令である。刀狩令は兵農分離を進め、身分制の区分に大きく寄与したと考えられている。教科書に出ている史料には目を通してほしい。
- 【歴史分野】 (3) 太閤検地 (3点)  
解説 検地とは土地や農民に対する支配権を確立し、年貢を確実に得るために行った政策であり、秀吉によるものは太閤検地と呼ばれる。
- 【歴史分野】 (4) 外敵からの攻撃を防ぐため。 (3点)  
解説 なぜ城の周囲に堀があるのか、当時の社会情勢等から考えて答えを導き出したい。
- 【歴史分野】 (5) 西日本を支配する外様大名の行動を監視すること。 (4点)

- 【解説】 江戸幕府が幕府に反抗する可能性のある外様大名を江戸から離れた地域に配置する政策をとり、そして西日本の外様大名については大阪城代とよばれる役職が監視の役割を担っていたことが説明できていれば正答とする。
- 問 8 【公民分野】 (1) 地方自治 (3点)
- 【解説】 地方公共団体の政治に関する基本的事項である。
- 【公民分野】 (2) 住民投票 (3点)
- 【解説】 前問と同じく、地方公共団体の政治の基本的事項である。
- 【公民分野】 (3) ウ (3点)
- 【解説】 発電所の維持管理については一部の自治体で運営している場合もあるが、ア・イ・エは地方公共団体の業務に該当することは明らかであるため、消去法でウを選択できるであろう。東日本大震災で東京電力が運営する原子力発電所が事故を起こしたことは記憶に新しい。
- 【公民分野】 (4) ウ (3点)
- 【解説】 市町村長の被選挙権は25歳以上である。
- 問 9 【地理分野】 (1) ウ (3点)
- (時事問題)
- 【解説】 2014年9月に発生した災害について出題した。身の回りで起きていることについては、新聞やニュース等で確認してほしい。
- 【地理分野】 (2) ハザードマップ(防災地図) (3点)
- 【解説】 地方自治体等が発行した災害時の避難経路や避難場所等を示した地図である。近年その重要性が注目されている。
- 【公民分野】 (3) ボランティア (3点)
- 【解説】 災害発生時に自発的に活動し、無報酬で活動する人々をボランティアという。阪神大震災や東日本大震災では多くのボランティアが活躍した。
- 【地理分野】 (4) 冷害 (3点)
- 【解説】 やませとは初夏にオホーツク海気団から吹き出す冷たく湿った風である。やませによって東北地方の太平洋側では冷害にみまわれ、農作物の生育が阻害される。
- 問 10 【地理分野】 (1) 鉄鉱石や原油などの原料の輸入に便利だから。 (4点)
- 【解説】 工業に必要な原料の多くは日本ではほとんど産出されないため、外国からの輸入に依存している。このため工業地帯は輸入に便利な沿岸部に形成されることが多い。
- 【地理分野】 (2) イ (3点)
- 【解説】 各工業地帯には得意な製造部門がある。京浜工業地帯は東京に近いため、出版・印刷業の割合が高い。中京工業地帯にはトヨタ自動車の本社のある愛知県豊田市が位置しており、自動車の製造が盛んなことは有名である。阪神工業地帯は他の工業地帯に比べて金属工業の割合が高いことが特徴とされる。
- 【地理分野】 (3) 自動車 (3点)
- 【解説】 グラフ中の機械のうち「輸送用機械」は自動車を意味している。アのグラフはイ、ウに比べ輸送用機械の割合が高いことから中京工業地帯と判断して自動車と答えたい。
- 問 11 【公民・地理分野】 (1) ウ (3点)
- 【解説】 オーストラリアの首都はキャンベラである。
- 【公民・地理分野】 (2) イギリス (3点)
- 【解説】 オーストラリアはイギリス人によって開拓を受け、植民地とされた。現在も英連邦王国の一つであり、オーストラリア国旗にはイギリス国旗が取り入れられている。
- 【公民・地理分野】 (3) 英語 (3点)
- 【解説】 上述のように、イギリスの植民地であったことから現在でも英語を言語として使用する人の割合が高い。

【公民・地理分野】 (4) 20 (4点)

解説 オーストラリア大陸の面積を日本の国土面積で割り算をすれば解答は容易である。

【公民・地理分野】 (5) オーストラリアでは国内で産出される一次産品を輸出 (4点)  
し、日本からは工業機械を輸入している。

解説 グラフを読み取れば解答は容易である。読み取った内容が読み手に理解できるよう、記述の練習をしてほしい。

### 【出題のねらい】

神戸の近隣地域である大阪について取り上げた会話文を中心に、2014年におこった出来事にもふれながら、各分野への出題を行った。小学6年生の後半で学習する国際分野についてはオーストラリアについて出題した。いずれも基本的な事項でありぜひ知っておきたい知識である。それ以外の地理や歴史の問題については受験生にとって身近な近畿地方を取り上げ、教科書に登場する基本的な事項を出題した。これらの問題に関しては事前学習をすることや一般常識での解答が可能と思われる。この他、受験生の思考力を問う問題として、雨温図や三大工業地帯のグラフを読み取る問題や、表現力を問う問題として日本とオーストラリアの貿易の様子についてグラフを読み取る問題を出題した。

### 【講評】

日本と諸外国の基本的な事項に関して出題をした。問11のオーストラリアの設問では正答率が高く、世界のことについて関心があると評価できる。中学社会では世界の国々に関する内容を学習するため今後も新聞やニュース等を通じて知識をつけて頂きたい。しかしながら、日本の地理と歴史に関する問題については全体的に得点が伸び悩んだ印象を受けた。確かに社会科では知識を問う問題が出題されるが、地名や歴史上の人物を暗記するだけでなく、「なぜそうなるのか」「どのようにして起きたのか」といった因果関係を理解することが大切である。例えば問2の雨温図の問題では、なぜ地域ごとに気候が異なるのか、県の位置や自然的特徴から判断することが求められる。また、問5~7の歴史に関する問題については歴史の流れと歴史上の人物がどのような政策をとったのか、しっかり整理することが大切である。一見難しく感じるかもしれないが普段の学習から「なぜ?」「どこで?」「どのようにして?」といったことに視点を向けることで理解が促進され、より楽しく勉強ができるであろう。この他、説明問題に関しては読み手が理解できるよう内容を整理したうえで記述することが求められる。これについては普段からのトレーニングによって表現力を養ってほしい。